

第12次水道事業経営審議会の審議状況等一覧 No. 1

開催	出席委員	主な議題	概要・意見
<p>第1回 平成30年10月19日 (2018年)</p>	<p>19名</p>	<p>(1)委嘱状交付 (2)正副会長選出 (3)経営審議会の概要と審議経過 (4)水道事業の現状と課題 (5)水道事業の財政状況について</p>	<p>(概要) 審議会の概要やこれまでの審議経過、水道事業の現状や課題などについての説明。 (意見) ・水道いどばた会議は、大変良い取組であると思うので、より多くの人に参加してもらえるよう広報・PR方法の検討が必要。 ・ホームページやSNSなどのインターネットによるものだけでなく、停電時や高齢者への配慮なども考慮した情報発信が必要。 ・老朽化した施設・管路の更新費用が必要になる一方、水需要が減少していく状況の中では、適正な料金水準についてもっとアピールするべきではないか。</p>
<p>第2回 平成31年1月22日 (2019年)</p>	<p>17名</p>	<p>(1)今後の審議について (2)水道事業の新たな基本計画(案)の中間報告 (3)水道事業の経営状況と適正な料金水準 (4)消費税引上げに伴う今後の対応</p>	<p>(概要) 審議会の今後の審議予定について説明、水道事業の新たな基本計画(案)、経営状況と適正な料金水準、消費税引上げに伴う今後の対応についての審議。 (意見) ・管路の更新については更新のボリュームよりも、それがどのような効果を生むのかということをも市民にもわかりやすく説明できることが必要。 ・管路更新などの優先順位を決めていく際には、フューチャー・デザインによる将来の視点から評価していくことが必要であると考えている。</p>
<p>第3回 令和元年5月21日 (2019年)</p>	<p>19名</p>	<p>(1)水道事業の新たな基本計画(案)の中間報告 (2)水道事業の経営状況と適正な料金水準</p>	<p>(概要) 水道事業の新たな基本計画(案)の基本理念・基本方針・施策、本市水道の給水量、給水収益の状況や料金算定の仕組みなどについての審議。 (意見) ・基本方針として「地域」を加えるのは、市民・地域との関わりという点で非常に大事なことである。 ・本市の水道水の水質についてもっとPRしてはどうか。 ・地下水利用専用水道についての対応を今以上に考える必要がある。 ・料金値上げは市民生活に影響するので、国に補助金などの支援策を働きかける必要がある。 ・将来的にも民営化することのないようにしてほしい。</p>

第12次水道事業経営審議会の審議状況等一覧 No.2

開催	出席委員	主な議題	概要・意見
<p>第4回 令和元年8月6日 (2019年)</p>	<p>19名</p>	<p>(1)水道事業の新たな基本計画(案)の中間報告 (2)水道事業の経営状況と適正な料金水準 (3)審議会意見のまとめ</p>	<p>(概要) 水道事業の新たな基本計画素案への委員意見とそれに対する本市の考え方、水道事業の経営シミュレーションの結果や適正な料金水準の考え方などについての審議。</p> <p>(意見)  <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備について、必要性の判断基準や優先順位を整理することで、わかりやすくなるのではないかと。</li> <li>水道料金を主とした事業運営は限界が来ているのではないかと。独立採算制で経営を行うことを前提に、水道料金以外の収入を得る方法が必要ではないかと。</li> <li>太陽光発電や水力発電など自然エネルギーを有効活用しながら、電力費用の削減を考えるべき。</li> <li>過度な借金は将来に負担を先送りにすることになるので避けるべき。</li> <li>原価割れの水道料金により将来世代に大きな負担を残さないよう適正な料金水準としてほしい。</li> <li>一般会計から繰り入れて施設整備費に充てる必要があると思う。</li> </ul> </p>
<p>第5回 令和元年9月11日 (2019年)</p>	<p>16名</p>	<p>(1)水道事業の新たな基本計画(案)の中間報告 (2)水道事業の経営状況と適正な料金水準</p>	<p>(概要) 水道事業の新たな基本計画素案に対するパブリックコメント実施結果の報告、本市水道事業の経営状況や適正な料金水準に関するこれまでの審議の振り返りと意見の整理。</p> <p>(意見)  <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画には災害時給水拠点の場所を図示すると分かりやすい。</li> <li>市民に配布することを考えて、概要版を分かりやすく作成してほしい。</li> <li>水道料金は電気料金などに比べると安く、原価割れの緩和ができればと思う。</li> <li>住みやすい吹田を守るために、生活者に過度な負担とならないよう配慮した水道料金の設定にしてほしい。</li> </ul> </p>
<p>第6回 令和2年1月16日 (2020年)</p>	<p>19名</p>	<p>(1)水道料金改定について(報告) (2)すいすいビジョン2029の実行計画について (3)大阪広域水道企業団との人事交流について</p>	<p>(概要) 水道料金の改定内容や市民説明会等に関する報告、「すいすいビジョン2029」の実行計画の概要についての審議、大阪広域水道企業団との人事交流の内容等の報告。</p> <p>(意見)  <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も「水道いどばた会議」や「市民説明会」をはじめとした水道事業についての広報活動を積極的に行うとともに、市民へのPRを工夫してほしい。</li> <li>市民満足度の向上には、市民の水道への関心や安心度を高めるような情報提供について、より一層の工夫が必要と思う。</li> <li>危機管理や環境負荷低減など様々な課題について、水道だけでなく市全体で取り組む必要があると思う。そのためには、国や府、市からの財政支援が必要だと考える。</li> <li>スマートメーターの実装実験に向けて様々な方法を検討してはどうか。</li> </ul> </p>